

下級裁判所裁判官指名諮問委員会（第111回）議事要旨

（下級裁判所裁判官指名諮問委員会庶務）

1 日時

令和5年9月1日（金）13：00～13：25

2 場所

最高裁判所中会議室

3 出席者

（委員）井田良、伊藤眞（委員長）、井堀利宏、今田幸子、加藤俊治、北村節子、大善文男、田邊宜克、中尾正信、中田裕康（敬称略）

（庶務）小野寺真也（総務局長）、榎本光宏（総務局総括参事官）、長田雅之（総務局第一課長）

（説明者）徳岡治（人事局長）、高田公輝（人事局任用課長）

4 議題

（1）協議

- ・ 令和6年上半期の判事補から判事への任命候補者及び判事の再任候補者について
- ・ 令和6年4月期の弁護士任官候補者について

（2）次回の予定等について

5 議事

（1）協議

庶務から、前回の委員会以後の経過として、令和5年下半期の判事補から判事への任命候補者及び判事の再任候補者、令和5年10月期の弁護士任官候補者並びに令和5年7月期及び8月期の出向からの復帰候補者についての答申を最高裁判所に報告したこと、また、令和5年下半期の判事補から判事への任命

候補者及び判事の再任候補者、令和5年10月期の弁護士任官候補者並びに令和5年7月期及び8月期の出向からの復帰候補者についての最高裁判所における審議結果が報告された。

また、最高裁判所から、令和6年4月期の弁護士任官候補者、令和6年上半期の判事補から判事への任命候補者及び判事の再任候補者について、それぞれその指名の適否について諮問を受けたことが報告された。

- ・ 令和6年上半期の判事補から判事への任命候補者及び判事の再任候補者について

庶務から、8月25日（金）午後1時30分から作業部会を開催したことが説明され、作業部会長である中田委員から、作業部会の検討結果について報告がされた。

作業部会の検討結果を踏まえて重点審議者について審議し、決定した。

そして、今後の手続として、速やかに、所管の地域委員会に指名候補者の名簿と略歴を提供するとともに従前どおりの方法で情報収集の上、11月7日（火）までにその結果を報告するよう要請することとされた。

また、前回の地域委員会からの報告では、全国の全ての弁護士会において弁護士会による情報の取りまとめはなかったものの、このような状況になるまで長時間を要した事柄であること、近時提出されていなかった段階評価式アンケート方式の情報が最近でも一部の地域委員会に提出されたことなどを踏まえ、今後当分の間は、地域委員会に対し、「裁判官の職権の独立に対する影響、プライバシーへの配慮、適格性に疑義が生じない情報を広く収集するという観点等に照らすと、弁護士会が各弁護士からの情報を取りまとめることは相当ではなく、各弁護士から直接地域委員会に情報を提供する方法によるべきこと、特に段階評価式アンケートによる情報収集は相当ではない」という当委員会の考え方を引き続き周知するよう依頼することとされた。

- ・ 令和6年4月期の弁護士任官候補者について

庶務から、以下のとおり説明がされた。

弁護士任官候補者に関する情報収集の在り方については、これまで、弁護士任官希望者に関する的確な情報が十分に収集できているとはいえず、調停官を経由した弁護士任官の推進等、早い段階から的確な情報を収集するための方法を今後とも継続的に検討していく必要があるが、弁護士任官希望者側の事情に配慮し、当面は、全ての弁護士に任官希望者の名簿を示して情報提供の依頼をすることはせず、担当事件リスト記載の相手方代理人及び事情を知る者として候補者本人に挙げてもらった人から情報収集することとされてきた。他方、裁判官及び検察官からの情報収集に関しては、任官希望者が所属する弁護士会に対応する裁判所及び検察庁に対し、任官希望者の名簿及び担当事件リストを提示し、所属する裁判官及び検察官に対し、任官希望者の指名の適否に関する情報があれば、これを地域委員会に提供してもらうよう周知依頼することとされてきた。なお、任官希望者が調停官となっている場合には、調停官として執務している状況に関する報告書が最高裁判所から提出される旨の説明がされた。

庶務からの説明を受けて、今回の弁護士任官候補者に関する情報収集の在り方について審議した結果、地域委員会による弁護士等からの情報収集の方法、裁判官及び検察官からの情報収集の方法のいずれについても、従来と同様の方法によることとされ、庶務から、速やかに、所管の地域委員会に対し、情報収集の上、11月7日（火）までにその結果を当委員会に報告するよう要請することとされた。

（２）次回の予定等について

次回の委員会は、12月4日（月）午後1時30分から開催され、令和6年上半期の判事補から判事への任命候補者及び判事の再任候補者並びに同年4月期の弁護士任官候補者について審議することとなった。

また、次々回の委員会は、12月15日（金）午後1時30分から開催され、司法修習を終了した者（76期）から判事補への任官希望者について審議することとなった。

以 上